

令和6年度当初予算 復活見積調書(部長)

上下水道部

■ 水道事業会計

(金額:千円)

番号	所属名	事務事業名	項目	目的・効果	計画・スケジュール等	当初見積額		内示額		復活見積額	財源内訳					査定額	財源内訳					査定結果				
						見込額	一財	内示額	一財		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源					
1	上下水道総務課	固定資産購入費	企業会計システムの共同化	令和元年に改正された水道法に基づき、将来の人口減少社会など社会情勢の変化に備え、広域連携による経営基盤の強化を進めるため、水道事業の業務の一層の効率化を図る必要があります。 企業会計システムの単一化は、経営基盤の強化を図る上で、国または滋賀県広域化推進プラン(令和4年12月策定)において、重要な取組として位置づけがされております。 これらのことから、令和12年度以降の県内システム単一化に向け、令和6年度に水道標準プラットフォームを導入し、システムの標準化等を行い、単一化の際スムーズなデータ統合やデータ移行費の削減を図るとともに、滋賀県・草津市・彦根市の3事業体共同で導入することで、さらなるコスト削減を図るものです。	令和6年度 システム構築、水道標準プラットフォーム導入(滋賀県・草津市・彦根市の3事業体で共同発注) 令和7年度 稼働開始 令和12年度以降 県内システム単一化	21,670	20,662	0	0	21,670	3,611	0	0	0	18,059	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	政策的な判断等を要するため、市長査定としました。
2	上下水道総務課	水道啓発事務費	上下水道啓発事業	市制施行70周年という節目に、先人たちが築いた地域の共有財産である上下水道を次世代へ引き継ぎ、将来にわたり安全でおいしい水を提供するために、上下水道について市民に再認識いただくとともに、「きき水」を事業の主軸として、健康のために水を飲むという啓発を進めます。啓発にあたっては、「水から健康に」をキャッチフレーズに健康フェアにおいて行政ブースを出展します。	令和6年4月～ デザイン校正等 令和6年10月 イベント出展(健康フェア)	723	46	723	723	677	0	0	0	677	0	677	0	0	0	0	677	0	0	0	0	部長間調整により、事業内容を確認し、必要額を措置しました。
3	給排水課	配水及び給水事業	会計年度任用職員	処遇改善により、専門性の高い幅広い業務を担える優秀な人材を確保することが可能になります。	令和6年4月～ 会計年度任用職員採用	9,696	9,696	8,522	8,522	1,174	0	0	0	0	1,174	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	部長間調整により、措置しませんでした。
部合計						32,089	30,404	9,245	9,245	23,521	3,611	0	0	677	19,233	677	0	0	0	0	677	0	0	0		

